

132

令和8年2月1日

KORYO

# 議会だより



## 安部区のとんど

1月12日(月・祝)、安部区で行われた“とんど”の1コマです。

バチバチと音が鳴り、ゴォーという大きな炎を人々が囲む光景は冬の風物詩となっています。



議長 谷 禎一



『物事の土台や基礎』  
物事の本質を見極め行動したい

副議長 吉村 真弓美



「望」を力に、迷いながらも笑顔で  
前に進む一年に

河野 伊津美



皆さまの声を未来へ紡ぐ一年に

八尾 春雄



自立の立、立ち会いの立、立証の立  
…議会の立ち位置です

谷内 和昭



新たな未来を全力で誠実に  
邁進します

小原 薫



笑顔を忘れず、人とのつながりを  
大切にする一年に！

令和 八年

2026



坂口 友良



高齢・障がい・子育て支援活動を  
重層的に始めます

吉川 司



誰もがトライできるまちを目指し  
課題に挑み続けます！

岡本 晃隆



初心を忘れずに飛ぶとく進む

小西 栄枝



知識だけでなく、行動の中身を  
深める年に

笹井 由明



経験や心の豊かさを優先し  
自らの道を拓きたい

坂野 佳宏



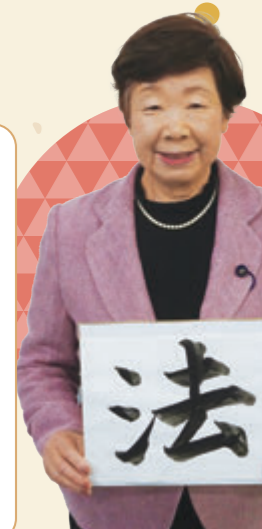
夢の百寿を目指して  
健康に注意してまいりたい

青木 義勝



魁けて事を成す

山田 美津代



平和のために、法を守りたい



## 模擬投票コーナー

本物の投票台と投票箱を使って模擬投票



### 未来へ届け！ 広陵まちづくり選挙

- ①竹取公園にカフェ設置
- ②ドッグランの更なる整備
- ③制服の無償化
- ④体育館にエアコン設置
- ⑤公共交通の充実

※複数投票可能



## 模擬投票の開票作業

模擬投票の自由意見が多かったご意見は、岡本議員が一般質問をさせていただきました。



▶岡本議員 一般質問 P18へ

## 議会だよりアンケート

果たして結果は...?

旧レイアウト	100
新レイアウト	127

詳しい内容は  
こちらから



## かぐや姫まつり 議会ブース大盛況



かぐや姫まつり2日目(令和7年10月19日)では、議会ブースを出展し、住民の皆さまと議会をつなぐきっかけづくりを創出しました。  
ブースの内容は、**議会クイズコーナー**と**模擬投票コーナー**！  
議会クイズコーナーでは全問正解者に特製「かぐやちゃんクッキー」を進呈しました。  
模擬投票では有効票数**468**票とたくさんの方に投票いただきました。  
皆さまのご協力、ありがとうございました！



議会だより130号  
(令和7年9月1日号)で  
表紙を飾ってくれた  
男の子に再会!!



恐竜になっていたのは  
谷内議員・小西議員・吉川議員  
の3人でした



## 議会クイズコーナー

全問正解できましたか？



第30回

# 地域の つながり

今回は  
おおがいと  
大垣内子ども会

1月は  
ピエロ公園(時計台公園)で

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています)

現会長の奥本浩徳さんにお話を伺いました

## やきいも

★暖が取れる「やきいも」★

寒い時期の野外イベントなので、スタッフも子どもたちも暖が取れ、楽しく参加していただけのものを考えました。  
子どもたちに、サツマイモを新聞紙とアルミホイルで巻く作業を、してもらいました。  
上手に巻けたサツマイモを大事そうに持っている子、お手伝いするのが楽しかった子を見ていて微笑ましく感じました。

## 防災クイズ

★災害時の知識を！★

子どもたちが、何か災害が起きたとき、自分で判断できる知識を付けて欲しいと思い、防災士ネットワークの方々に協力をお願いしました。  
「どっちだろう？」と悩んでいる姿を見ると、やってよかったと思いました。  
参加いただいたお子さんだけでなく、大人も勉強になった時間でした。

## 百人一首

★なぜ百人一首？★

子どもたちに、昔の人の言葉に親しんでもらいたくて、大きめの札で百人一首を行いました。  
始めは苦手と言っていた子も、上級生の応援で取れるようになり、次第にひとりで札を探すようになって、札を探して行ったり来たり。ワイワイと遊ぶことができました。  
国語力や集中力が身に付くので、また取り組みたいです。

## このイベントを企画した理由

子ども会で少しでも楽しい時間を過ごしてほしい

今回は「冬の外遊び」として企画しましたが、子ども会ではたくさんのイベントをしています。  
子どもたちには、外に出て、地域の中で気さくに付き合える仲間を、たくさん作って欲しいと思います。  
そして、遊びを通して地域の中の交流や伝統に親しみながら、元気に成長して欲しいです。  
また、子どもの年齢が異なる保護者さん同士で、情報交換や交流ができるのも魅力です。  
そういう場を今後も提供できるよう、子ども会は活動していきます。

## 30回目を迎えた『地域のつながり』は、今回が最終回となります。

これまで、ご協力いただいた団体の皆様、ご愛読いただいた皆様、ありがとうございました。  
次号からは、新企画がスタートします。  
どんなページが登場するか、お楽しみに。

# 議会 News



## 県外市町からの視察研修受入(3市町)

10月24日(金)、長野県駒ヶ根市議会教育民生建設委員の皆さまが地域包括ケアとDXの総合的運用について、11月17日(月)、福岡県佐々町議会議員の皆さまが町有地の利活用について、12月24日(水)、広島県熊野町議会文教福祉委員の皆さまがICTを活用した介護予防について視察されるため、広陵町を訪問されました。

遠方より来町された3市町の皆さまに感謝し、この交流を今後の町づくりに活かしてまいります。



## まほろばリレーステーションへの視察研修

10月28日(火)、まほろば環境衛生組合で建設された「まほろばリレーステーション」を視察しました。

本施設は、令和7年5月から稼働している「やまと eco クリーンセンター」への環境負荷の低減を目的に搬入車輛台数を最小限にするということで設置されたものであり、構成町(安堵町、広陵町、河合町)の可燃ごみを大型コンテナ車に積み替えて「やまと eco クリーンセンター」へ運搬するものです。

2階のプラットフォームからごみを投入し、1階の搬出スペースから「やまと eco クリーンセンター」へ運搬される仕組みです。



令和 7 年12月定例会 議案採決状況一覧（○賛成，×反対）															
※採決が分かれた議題のみを載せております。															
議 案	河 野 伊 津 美	八 尾 春 雄	谷 内 和 昭	小 原 薫	坂 口 友 良	吉 川 司	岡 本 晃 隆	小 西 栄 枝	笹 井 由 明	谷 禎 一	坂 野 佳 宏	青 木 義 勝	山 田 美 津 代	吉 村 眞 弓 美	議決結果
議案第71号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません。	○	○	×	○	原案可決
議案第81号	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	原案可決
議員提出議案第8号	×	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	×

**賛 成**

当該、はしお元気村においては、既に指定管理者制度の導入経過から、直営では困難な部分を補完する上で、柔軟で機動的な運営がなされてきた。

今後、利用者ニーズに応じたイベントの実施や利用促進に向けた広報、企画力の向上に期待できることから、引き続き、民間事業者を指定し、管理を行わせるものであり、本議案に賛成とする。

**反 対**

福祉の増進と生涯教育に使用するはしお元気村を指定管理者に委ねる議案だ。民間委託と異なり、施設利用の決済や使用料の入金は町ではなくて指定管理者となる。「民間の力を活用」というが、役場職員の働きは民間に劣ることも言えるのか。

議案第81号  
指定管理者の指定について

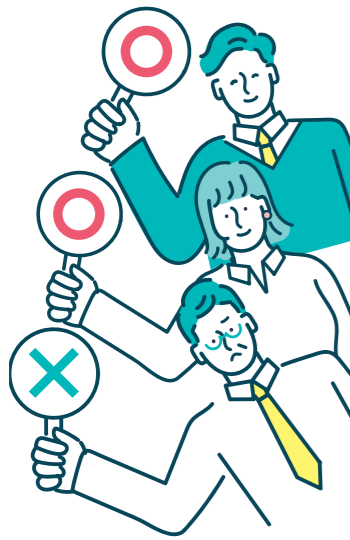
**賛 成**

現場の負担や安全面、午前中の2時間で食事なしという利便性には懸念が残る。しかし、未就園児家庭の孤立防止という目的は重要であり、まずは公立園でのスモールスタートで安全を最優先に進める町の方針は現実的である。子育て支援の選択肢が増えることを期待し、現場体制の万全な構築を強く要望した上で、本議案に賛成とする。

**反 対**

この誰でも通園制度は、国が保育士確保困難な中、自治体を実施を押し付けている制度で、6か月から3歳未満と一番手のかかる時期の子ども達を月10時間限度として預けることは、子どもの安全や保育士さんの負担など考えると町の独自の裁量があると思うが、国の基準で実施されるとのことです賛成はできない。

議案第71号  
広陵町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について



**賛 成**

この法は、100年前に成立した稀代の悪法と言われる弾圧立法で、特高警察は弾圧の対象を無制限に広げ労働組合、社会民主主義者、多くの文化人・知識人・宗教団体まで監視し、戦争に反対する声を押しつぶした。戦後多くの特高官僚が自民党国会議員になり、弾圧被害者への謝罪も賠償も拒否している。戦前の暗黒政治の潮流を断ち切り、謝罪と賠償を行うことは日本の発展のために必要。

**反 対**

国家賠償法の適用範囲については、戦後の制度を遡及的に適用することの法的安定性や、特定の犠牲者に対する賠償が他の犠牲者との公平性を損なう懸念があるため、本意見書に反対とする。

**反 対**

治安維持法下での人権侵害の歴史は重く受け止めるべきであるが、戦後長期間を経て新たに国家賠償責任を立法で求めることは、法的安定性や責任範囲の点で慎重な判断が必要である。追加調査を政府に課することも行政負担や歴史解釈の混乱を招くため、本意見書に反対とする。

議員提出議案第8号  
治安維持法犠牲者に対する国家賠償法の制定を求める意見書について

令和 7 年第 4 回臨時会 (令和7年11月4日)

議案番号	件 名	概 要
議案第67号	広陵町学校給食費徴収条例の一部を改正することについて	給食費の基準額を改定し、期間を決めて実質無償化する条例
議案第68号	令和7年度広陵町一般会計補正予算(第8号)	財政調整基金を取り崩して、給食費無償化に伴う財源とする
議案第69号	令和7年度広陵町学校給食特別会計補正予算(第2号)	給食費無償化に伴う財源を、特別会計へ繰り入れる
議案第70号	広陵町立小学校給食室真空冷却機の買入れについて	衛生管理を強化するため、小学校4校へ真空冷却機を導入

令和 7 年第 4 回定例会 (令和7年12月8日～12月23日)

議案番号	件 名	概 要
報告第23号	広陵町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告について	児童福祉法改正に伴う所要改正を専決処分報告
報告第24号	町道の管理の瑕疵に基づく損害賠償額の決定に係る専決処分の報告について	街路樹の枝が施設窓の網戸を損傷。保険で全額賠償し専決処分報告
議案第71号	広陵町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	こども誰でも通園制度の実施に向け所要の規定整備
議案第72号	広陵町行政組織条例の一部を改正することについて	町長公室新設等、機動的かつ分野横断的な組織改革
議案第73号	広陵町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正することについて	住登外者管理を個人番号利用事務に追加
議案第74号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正することについて	年次有給休暇及び組合休暇の付与単位を年度単位に改正
議案第75号	広陵町税条例の一部を改正することについて	特定親族特別控除の創設等、地方税法改正に対応
議案第76号	広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて	令和8年度より、その他プラごみを可燃ごみに統合し運用
議案第77号	令和7年度広陵町一般会計補正予算(第9号)	道路整備等の公共事業や保育支援等の経費増額のため、歳入歳出5億4,226万7,000円を追加
議案第78号	令和7年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	追加交付に伴う財源補正や、差額を基金に積み立て、総額34億1,948万円とする
議案第79号	赤部26号線横断歩道橋上部工整備工事に係る請負契約の変更について	柵高変更等により契約金額3,542万1,100円増額
議案第80号	町道の路線認定及び変更について	新規5路線、変更1路線を町道認定
議案第81号	指定管理者の指定について	はしお元気村を現指定管理者で継続管理
議案第82号	令和7年度広陵町一般会計補正予算(第10号)	物価高対策に対応するための補正予算
議員提出議案第8号	治安維持法犠牲者に対する国家賠償法の制定を求める意見書について	治安維持法犠牲者への謝罪と国家賠償法の制定等を求める意見書



第4回定例会（12月議会）に上程され、総務文教委員会・厚生建設委員会に付託された11件について審査を行いました。その結果は本議会に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

## 総務文教委員会

議案第71号 広陵町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

**Q** 一般型と余裕活用型の違いと、北ごどもかぐや園での実施はどちらを採用するのか。予約方法は電話予約以外にシステム構築できないのか。  
**A** 余裕活用型は定員を割っている場合、余裕の人数を使って子どもを預かる制度である。本町の場合は保育園・こども園それぞれ定員をオーバーしていることから、定員数を決めて設定する一般型を採用する。国の方で統一したシステムが現在完成し、テスト段階である。基本的にはスマートフォンやパソコンからアプリを用い、予約や予約状況確認ができる予定である。

賛成多数で可決すべきものと決した

議案第72号 広陵町行政組織条例の一部を改正するについて

**Q** 今回の改正により部長職・課長職が増員となるが、資質のある人の配置についてどのように考えているか。  
公共施設マネジメント課が設置されるが、町内施設複合化のロードマップを示して欲しいという意見もあるが現況を教えて欲しい。  
**A** 管理職に登用する時には、研修を受け、人事評価を踏まえて能力、適性を見極め、どの部署が本人に適しているかを判断している。

公共施設全般的なことについては、総合政策課が所管している。4月1日から公共施設マネジメント課を設置し、各々施設ごとの個別対応ではなく全体を所管する予定で、現在引き継ぎするよう準備を進めている。

全員一致で可決すべきものと決した

議案第73号 広陵町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正することについて

**Q** マイナンバーを独自に利用できる事務を拡大することにより、プライバシーが侵害されるのではないかと。また、利用範囲が拡大されることにより、監視社会につながるかと不安視される方がおられるが、その方へ町はどのように対応するのか。  
**A** 今回の改正は独自事務を増やすものではなく、地方自治体システムの標準化により、宛名情報を個人番号を使って情報連携できるように条文を整備するものである。また、個人番号を取り扱う職員については毎年情報セキュリティ研修を実施し、適正な管理・運営について研修を行い遵守している。

全員一致で可決すべきものと決した

議案第74号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正することについて

**Q** 休んでいる日に自宅で仕事を

したり、休暇前の時間外が増加したり、名ばかりの休暇が常態化する恐れがあると思うが。

**A** 今回の改正は、年休付与を1月から12月の部分を、4月から翌年3月に変更する条例改正である。時間外は、1か月40時間以内で制御しており、前年比でそれほど増加していない。また、年休取得については、職員に20日付与し、平均11日間取得できている。

全員一致で可決すべきものと決した

議案第75号 広陵町税条例の一部を改正することについて

**Q** いわゆる大学生世代の子どもがいる家庭を対象に創設される制度であるが、どのくらい家庭が恩恵を受けられるのか。また、内容が非常に複雑であるので、どのように内容を分かりやすく周知徹底されるのか。  
**A** 令和7年度の課税状況ベースで試算すると、対象者は83人。周知については、町広報紙、ホームページなどにより徹底していく。

全員一致で可決すべきものと決した

議案第77号 令和7年度広陵町一般会計補正予算（第9号）

**Q** 県道田原本主寺線に設置するアンダーパス工事について、どれくらい幅が広がるのか。また、道路は沈むのか（菅尾準工業地区道路整備事業）。

**A** 現状、車1台が通れる約4m程度だが、歩道を西側に、車道2

## 厚生建設委員会

議案第76号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

**Q** その他プラスチックごみを可燃ごみに改め、統合するという事で、環境負荷が懸念されるが、どのように考えているか。  
**A** その他プラスチックは助燃剤と呼ばれ、同時に燃やすことで、ダイオキシンが発生しない850度以上の温度にまで達することが可能。重油や軽油を利用しなくとも助燃剤活用により火力をあげることができると環境負荷は軽くなると考えている。

議案第78号 令和7年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

**Q** 20年間、町道として認定されなかった道路もあると聞いたが、このタイミングで認定に至った背景と、これまでの判断の違いは。  
**A** 位置指定道路という特殊な道路や、町が求める規格に則っていないままになっている道路があったが、住民が使う道路ということに変わりは無いという視点から、道路の形状で不特定多数の方が使用する道路については、町で管理するべきものとして注力している。

議案第80号 町道の路線認定及び変更について

**Q** 地方交付税の算定項目である道路に対する基準財政需要額は、道路の「面積」と「延長」によって算出される。道認定されていないものは漏れとなるが、漏れの調査や道路台帳の早期整備等、今後の方針は。  
**A** 道路やインフラの維持修繕には今後かなりコストが上昇していくものと見込まれ、財源的にも非常に厳しくなる。交付税算入できるものについては、交付が受けられるよう、原課として道路台帳の

全員一致で可決すべきものと決した

議案第81号 指定管理者の指定について

**Q** 公共施設の管理について、グリーンパレスが指定管理者をはずれ、慎重に進めないといけないが、指定管理の在り方について、根本的に見直す予定はないのか。  
**A** 指定管理運営は、条例に基づいて選定しているが、時代の変遷に伴い、公共施設の使い方が在り方が見直しされるべきものであり、民間事業者による運営委託により効果的である場合は引き続き民間活力を導入していきたいと考えている。

賛成多数で可決すべきものと決した



町道路線認定の現場視察

給食費徴収条例の改定

教育

**問** 令和8年1月から15か月間、小学校・中学校の学校給食費は特例として徴収しないことが決まった。町長の選挙公約の実現ではあるが15か月後には逆に各千円の引き上げも決めている。徴収しないことを決めたのだから、条例そのものを廃止すべきではないか。さらに義務教育の無償原則（日本国憲法第26条）との関係はどうか。

**答 教育長：**国による給食費無償化が実施された場合、実情にあった額を決めておく必要があった。最高裁判決で「義務教育の無償化」とは授業料を徴収しないことと判示されている。

自治基本条例の改定

まちづくり

**問** この条例制定から5年以内の見直しが定められ、この度改定案がととのった。ところが条例推進会議のメンバーから「この条例の周知について不安がある」と表明されている。また、会長から「住民の自治を強調するあまり住民に新たな義務を負わせようとしていると誤解されていないか」と心配の声も出ている。

**答 町長：**全自治会や大字での説明も周知方法の一つと認識している。町民の皆さんの声を町政に反映させるため、パブリックコメントやシンポジウムの開催で今まで以上に皆さんの声をお伺いする機会を創りたい。

中央公民館建て替え

教育

**問** 方針の見直しがあり、暫定的にグリーンパレス3・4階への移転期間中に現地での建て替えも選択肢に入れ、関係者や住民各位の意見を十分に把握して対応してもらいたい。PFI方式での建て替えには問題が多く、見直しを。町の財政状況は概ね健全であり、町の力を発揮した町づくりに備えたい。

**答 町長：**現在PFIによる事業は未実施のため明確に回答できないが、いずれPFI方式等の検討は必須になる。町の財政状況について、今は問題となる指標はないが、各種公共施設などの起債充当により急激な悪化が避けられないと見込まれる。



※話題のグリーンパレス。多くの育成クラブが、はしお元氣村への移動を拒み、町域のほぼ中央にあるグリーンパレスを希望された。



教育

公民館建て替えは住民の総意を結集して

町長―様々な媒体を活用し広く意見を聴取する

八尾 春雄



一般質問として取り上げるに至った経緯

PFI方式で住民の幸福は得られるのか

横文字を使うと違った印象になりやすいですが、PFI方式とは公共施設の建設にあたり、設計・施工・運営を民間にゆだねる方式のことで資金も高利で提供されるしるもの。ここには住民の声は届かず、議会のコントロールも効かず、情報公開制度にもなじまないとされます。委ねる主体の広陵町の側に、委ねる内容を細かく吟味し、具体的な指示を出しコントロールする力がないと、相手は利益追求の集団ですから「自らの利益を優先した選択をする」ことは容易に想像できます。「任せたら楽でええ」などといった加減な方針では通りませんよ。



まちづくり

自治基本条例の改定 八尾  
誰もがわかる補助金申請の情報を 小原  
過去の答弁に対しての進捗状況は 小原  
コンサル業務委託のあり方 小原  
家庭系廃食油の回収実施 谷内  
EV急速充電設備の戦略的整備 谷内  
町民の声を施策に生かす 岡本  
リレーセンターへのごみ持ち込み 坂野  
町営住宅建て替えの検討を 山田  
参加の入口広げる対話の場を 小西  
インスタの早期活用 小西  
二度の予算修正について 吉川  
クビアカツヤカミキリ対策は？ 吉川  
まるごとビズの運営・進捗は？ 吉川



福祉

重層的支援体制の研修が必要 坂口  
地域生活支援拠点も進んでいるか 坂口  
認知症支援とユマニチュード 吉村  
重層的支援体制整備事業について 吉村  
広陵町手話言語条例の推進 岡本  
愛着・発達障害と地域連携 河野



防災

中央体育館でドローン練習・講習を 河野



その他

公共施設総合管理計画の推進 笹井  
物価高騰支援について 笹井  
物価高騰対策について 坂野  
地域猫活動の支援拡充と福祉連携 小西  
行政も稼ぐ意識で行動を 青木



教育

中央公民館建て替え 八尾  
給食費徴収条例の改定 八尾  
ICT活用フリースクール体制は 坂口  
残食解決や不登校生徒への支援を 山田  
教育費への支援を 山田

目次

八尾 春雄	・	・	・	・	・	P13
小原 薫	・	・	・	・	・	P14
谷内 和昭	・	・	・	・	・	P15
坂口 友良	・	・	・	・	・	P16
吉村眞弓美	・	・	・	・	・	P17
岡本 晃隆	・	・	・	・	・	P18
笹井 由明	・	・	・	・	・	P19
坂野 佳宏	・	・	・	・	・	P20
河野伊津美	・	・	・	・	・	P21
山田美津代	・	・	・	・	・	P22
小西 栄枝	・	・	・	・	・	P23
青木 義勝	・	・	・	・	・	P24
吉川 司	・	・	・	・	・	P25

傍聴人数

今回の定例会傍聴者数は

のべ 15人

HP 閲覧者数 6,145人  
(10月1日～12月31日)

ご視聴いただき  
ありがとうございました



広陵町議会

一般質問



議長 谷 禎一

12月11日、12日及び15日に一般質問を行いました。  
質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継、または会議録をご覧ください。

議会詳細はこちら



※会議録は、3月上旬に役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、町ホームページにも掲載する予定です。

## EV急速充電設備の戦略的整備

まちづくり

**問** EV普及には利便性の高い充電インフラが不可欠だが、現状、町内公共施設に急速充電設備は見当たらない。町の計画には交通の要所等への設置が明記されており、これはSDGsの目標11・13を推進する具体策である。未来都市として行政が率先して模範を示すべきと考え、町役場や竹取公園等の公共空間への具体的な設置計画と、目標達成に向けた方針を問う。

**答 町長:** 令和6年に「広陵町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定した。EV急速充電設備設置計画は策定していないが、まずは既に設置されている民間施設の利用実態を調査し、住民ニーズ等の把握を行い、EV急速充電設置に関する基本方針を明確にし、町の対応を具体化する。



SAF (Sustainable Aviation Fuel) とは、使用済み食用油(廃食油)から作られる SAF は持続可能な航空燃料の一種です。従来の航空燃料と比較して、製造から燃焼までのライフサイクル全体で温室効果ガスの排出量を大幅に削減(約 60 ~ 80%) できることが最大の特長です。

## 家庭系廃食油の回収実施

まちづくり

**問** 家庭系廃食油の回収は、焼却ごみの軽減とSAF等への再資源化を両立し、町のSDGs計画が掲げる脱炭素と循環型社会を具現化する施策である。これは処理コスト抑制に加え、暮らしの中からみんなで脱炭素社会をつくり上げていく鍵となる。

町はこの施策を計画達成に向けた重要課題と捉え、資源循環の仕組みを構築する必要性について問う。

**答 理事者:** 現状では、廃食油を固化したり吸着させたりしたものを、可燃ごみとして収集車で個別回収し、焼却処分している。

しかしながら、今後は廃食油の回収方法を見直し、航空機の燃料として再精製する方向で来年度中に実施する。



まちづくり

廃食油が空を飛ぶ！

理事者ー令和8年度に廃食油回収を導入

谷内和昭



## コンサル業務委託のあり方

まちづくり

**問** 高額な費用でコンサルに委託されているが、どのような判断基準なのか。また、専門的な分野に限って助言を受けるなど、必要最小限の委託で費用の削減につながるのではないかと。

**答 町長:** 事業の分野にかかわらず適切な事業委託について十分検証し、効果的、効率的な事業執行に努める。

**問** 委託が必要な専門領域と職員で対応可能な部分を明確化すべきでは。

**答 理事者:** 可能な限り役割分担の明確化に努めていくとともに、委託内容を精査し、過剰な委託が生じないように留意していく。



## その他の質問

リレーセンター広陵の解体



## その後どうなった！？

以前取り上げた一般質問等の内容を追求

## ついに小中体育館にエアコン設置

度重なる質問をさせていただいたこと、また、かぐや姫まつりの議会ブースで「未来へ届け！広陵まちづくり選挙」として模擬投票をさせていただきダントツで多かったのが「体育館にエアコン設置」であり、投票全体のうち、約41%である190票も投票をいただいたこと等を踏まえ、ようやく体育館に空調設備の設置に向けて明るい光が見えてきました。一日も早く設置をいただき、子どもたちの笑顔が見たいものです。今後の進捗状況を見守っていきます。



## 誰もがわかる補助金申請の情報を

まちづくり

**問** 様々な補助金等があるが、使えるのに使われていないケースがあるので、一覧表を作成してはどうか。

**答 町長:** それぞれの所管課で広報紙やHPで情報発信をしている。

**問** わざわざ探しにいかなくても、HPのトップ面に補助金等一覧表としてアップできないか。

**答 理事者:** 一目でわかるような一覧表を作成し、クリックすれば詳細ページに飛ぶように協議していく。

## 過去の答弁に対しての進捗状況は

まちづくり

**問** 議員の質問は町民の声の代弁であり、単なる言葉ではなく行動と結果で応えていくとのことだが、現在の状況を伺う。

**答 町長:** 課題整理を行い、部署間の進捗状況と連携を行い、施策の着実な推進に努めていく。

**問** 答弁後の状況一覧表を作ることで、全ての進捗状況が把握できるのでは。

**答 理事者:** 業務改善としても有意義であり、範囲の対象を検討し、お示しする。



まちづくり

わかりやすい補助金申請を

理事者ーHPで一目でわかるようにしたい

小原薫



## 重層的支援体制整備事業について

福祉

**問** 本事業は、8050 問題やダブルケア・孤立・住まいなど複合課題に対し、相談を受け止め、多機関協働で支える体制をつくることを目的とし、令和 8 年度の本格実施に向け整備するものである。そこで、下記について問う。

- ① 町では司令塔機能について、具体的な体制づくりをどのように検討しているか。
- ② 住まい支援を重層的支援体制の中にどのように組み込むのか。
- ③ 重層的支援体制の整備には人材の確保が不可欠であり、専門職の確保が困難な現状を踏まえ、通年募集の実施を提案する。

**答 理事者：**① 司令塔機能は主に社会福祉課と社協がマネジメントする。責任は特定の部署ではなく、会議体全体で負うべきと考える。

② 住宅部局と福祉部局で課題を共有し、居住支援政策を検討し、奈良県の助言を受けながら、重層的支援体制の一つとして組み込むべきか検討を進める。

③ 専門職の確保は喫緊の課題であり、現在人事担当と協議を進めており、来年度から通年採用が実施できるよう調整している。

## 認知症支援とユマニチュード

福祉

**問** 認知症の人の不安や混乱を軽減する効果が報告されているフランス発祥のケア技法“ユマニチュード”。これが目指すのは、日々の介護現場で、不安や興奮を和らげる専門的なコミュニケーション技術の習得である。認知症の方の尊厳を保持し、日々の不安を軽減するのは、やはり毎日関わる介護・医療の専門職だ。彼らが技術を習得すれば、町全体のケアの質があがるのではないか。

**答 理事者：**奈良県では医療職・介護職向けに基礎研修に加え、リーダー研修や指導者養成講座が実施されており、町は専門職に対し、これらの県主催の研修活用を促していく。



福祉

## 尊厳ある認知症支援

理事者―評価指標を設定し効果検証を図る

よしむら まゆみ  
吉村 真弓 美



## 地域生活支援拠点も進んでいるか

福祉

**問** 重層的支援体制の一環として障害福祉の地域生活支援拠点体制も重層化しなくてはならない。  
先行事例となるので、これがうまくいけば重層的支援もうまくいくと期待している。

**答 町長：**障がいをお持ちの方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する仕組みである。令和 8 年度から実施を予定し、関係機関のご協力をいただきながら重層的支援の一翼を担う事業として進めていく。

## ICT活用フリースクール体制は

教育

**問** 不登校親の会の方々が 9 月から真美ヶ丘地区でもフリースクールを開始した。真美ヶ丘中学校長、不登校担当教員ら 3 名と提出書類などの確認を終え、出席扱いとなった。Wi-Fi もあり、ICT などを活用した学習活動もできるなど「不登校児童生徒への支援の在り方」通知に基づき、整備をはかっているが、計画は？

**答 教育長：**通知によりフリースクールなどとの連携の意義は大きい。学校登校は多くの人たちとのつながりの中での貴重な場であるなど、現時点ではオンラインは自宅または別室登校時を前提としている。

## 重層的支援体制の研修が必要

福祉

**問** 町内の福祉のあらゆる部門が協力して、包括的・横断的な活動を進めることが示され、令和 8 年度スタートと議会に説明があった。

まったく新しい福祉活動の体制となるが、本事業を知らない部門も多いと思われる。計画的な研修や県の CSW 資格取得などリーダーとなる人の研修も進めたいが考えは？

**答 町長：**昨年 8 月に課長級以上の幹部職員に研修を実施したが、全ての団体に十分に説明が行き届いたとは考えていない。今後は他機関協働体制協議会を開催する中で、より多くの団体や組織の方々にもお声掛けしていく。



福祉

## 福祉の重層的支援体制へ！

町長―より多くの方々に進めていく

さかぐち ともよし  
坂口 友 良



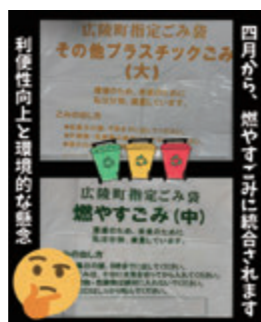
### 気になる議案あれこれ！

定例会において、注目した議案を私見を含めて紹介

### プラごみの分別が簡素化される

「その他プラスチックごみ」と「燃やすごみ」の統合は、細かな分別作業の手間がなくなり、毎日の家事負担を大きく減らす朗報です。令和 8 年 4 月からの改正により住民の利便性が向上し、実態に合った運用となることを大いに歓迎します。

しかし、一方で、燃やすごみ総量の増加や、プラスチックの再利用（リサイクル）への意識が低下しないかという環境的な懸念も残ります。利便性向上は大変ありがたいですが、今後もプラスチック排出量の抑制と、資源としての有効活用を意識し続けることが重要だと感じています。



### 一般質問する前に一言もの申す！

一般質問として取り上げるに至った経緯

### 高齢、障がい、子育ての支援を！

広陵町地域福祉計画では、高齢、障がい、子育て支援を横断的にあらゆる部門が包括的に福祉活動を進めることになりました。計画には、必要な専門職として、コミュニティソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカー、生活支援コーディネーター、成年後見人が示されているので、私は全資格取得を目指しており、あとは法定後見人として、令和 8 年度に裁判所に名簿登録を行うだけになりました。いずれも幅広い専門業務があるので、7 年かかりましたが、重層的支援体制がスタートする令和 8 年度に間に合ったので、福祉の最重要案件として取り上げました。

⑤今年度、町道の舗装点検業務を実施しており、町道の損傷度合を車載カメラにより撮影し、AIによる写真判読を行い、今年度の点検・評価結果をもとに舗装修繕計画を策定し、順次計画的に進めたい。



### 物価高騰支援について

その他

**問** 物価高騰対応重点支援交付金について、どのように支給されようとしているのか。

**答 町長:** 本町における概算額は2億8,000万円と見込んでいる。本町でも、国や周辺自治体などの動向を踏まえながら、当該事業における「食料品の物価高騰に対する特別加算」に係る事業を中心に、生活者に対する食料品をはじめとした物価高騰による負担を軽減するため支援策を検討していく。

### 公共施設総合管理計画の推進

その他

**問** ①管理計画は平成28年度から令和37年度までの40年間とされている。10年間を経過した中で、取組状況と成果について問う。

②今回、行政組織の改正によって、公共施設マネジメント課、建築物営繕室の設置など、実情に合った見直し改訂が必要と思うが。

③本計画期間内においては、公共施設の縮減目標を現保有量の20%とあるが、方針案を示されたい。

④学校体育館等について、空調整備の加速に向けての取組は。

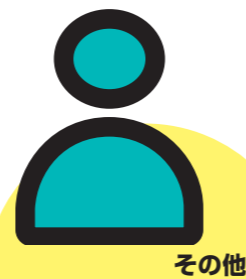
⑤道路においても、老朽化しその多くが耐用年数を過ぎた状況にある。整備更新計画の考えを問う。

**答 町長:** ①公共施設評価を行なった上で、将来的なコストシミュレーションを実施し、積極的に公民連携（PPP）手法を導入する。

②本計画は、各施設の分類別に策定する町寿命化計画や個別施設整備計画の上位計画であり、各施設の統廃合等の個別計画が策定された場合は、改訂が必要と認識している。

③令和8年度において、町全体の施設を対象とした公共施設再配置計画等の策定に向けた検討を開始している。

④学校空調設備設置については、今議会で債務負担行為補正を上程しており、早期実現に努めたい。



その他

## 公共施設管理計画の推進

町長―積極的に公民連携手法の導入へ

笹井 由明



### 広陵町手話言語条例の推進

福祉

**問** 広陵町もにはぐくむ手話言語条例が制定されて6年余りが経過した。今までの施策の実績と課題、今後の推進施策について問う。

**答 町長:** 条例制定後の施策として、町広報紙への掲載や、動画を作成して庁舎・さわやかホールでの配信を行い、住民が手話を目にする機会を設けた。

また、町職員への手話研修を行い、今年度は新規採用職員を対象に実施する予定である。

町社会福祉協議会に委託して、手話奉仕員養成講座を開講して手話への理解を広めるとともに、町内の各種イベントに手話通訳者を派遣している。

課題は、意思疎通者として登録するには、試験に合格する必要があることから、登録者数の確保が難しいことがある。また、災害時の情報収集手段が困難であることから、災害時に情報を知らせるための合理的配慮を具体的に検討していく。



### その後どうなった!?

以前取り上げた一般質問等の内容を追求

### 箸尾駅前開発の進捗状況は?

以前の一般質問で、何回か取り上げた箸尾駅前開発についてですが、40年以上が経過している状況で、箸尾駅前及び広陵町の北地区では、高齢化が進み、小規模業者の廃業などにより、地域の活性化が喫緊の課題となっております。

箸尾工業団地が完成し、箸尾駅を利用する企業関係者が増えることを期待しています。そのため、交通アクセスの整備が急がれます。今後、できるだけ早く地域と連携した計画の推進を望むところで。



### 町民の声を施策に生かす

まちづくり

**問** かぐや姫まつり議会ブースにおいて、模擬投票を行い、町に対する要望を自由記載の用紙を使って234票もの投票をいただいた（詳細についてはP5参照）。

その中で特に意見が多かったものをピックアップし、今回、一般質問を行った。

①子育て関連施設の充実を求める

②公共交通の充実に向けて

③まちづくり、教育関連について

**答 町長:** ①町内の都市公園や借地公園の遊具及び施設の修繕・更新については、区・自治会を通じて意見を聞きながら、進めていく。屋内の遊び場については、区・自治会や民間事業者などと協力してこどもの居場所づくりを進めていく。

②地域の要望を受けて、運行ルート及び運行ダイヤの改正や、のるーと広陵元気号運行車両の更新を進めている。今後も区・自治会とも連携しながら継続実施に取り組んでいく。

③放課後子ども育成教室は、利用希望者が年々増加している状況から、公共施設の確保や民間施設の誘致を進めていく。

また、各種情報の広報については、SNSの更なる活用を行うとともに、地域つながりアプリを導入し、住民同士の情報交換や地域内での支えあいを実施できるように検討を進めていく。



まちづくり

## 町民の意見を施策に反映

町長―町民の声を生かした施策の推進

岡本 晃隆



### 気になる議案あれこれ!

定例会において、注目した議案を私見を含めて紹介

### タイムリーな道路台帳整備を

道路維持修繕には、毎年多額の費用を要します。この財源としては地方交付税において財政上の措置がありますが、認定漏れや認定後においても道路台帳に登録されない限り、交付税の算定に用いる基準財政需要額に反映されません。今回の町道認定議案についても相当年数を経過した路線がありました。今後精査の上、タイムリーな台帳整備が求められます。



愛着・発達障害と地域連携

福祉

**問** 子ども家庭センターと重層的支援の連携の仕組み作りは、支援が必要な家庭、若者を切れ目なくつなぐために重要と考える。また、発達特性と愛着の揺らぎの問題等は、教育機関・福祉・相談支援・医療機関が同じ方向を見て支援を行う必要がある。連携体制の整備を願いたい。

加えて相談窓口が、電話と対面に限られているが、メールやオンライン、フォーム等、多様な窓口を検討願いたい。

**答 町長：**重層的支援体制整備事業を実施するにあたり、個人情報共有の同意を得たうえで、重層的支援会議で関係機関と情報共有し、必要な支援を検討する。同意を得られなかった場合は、個別の支援会議において、関係部署・機関と支援体制を検討する。

福祉的な相談は、対面や声色で、相談者の状態や緊急度を踏まえ適切な回答や支援につながる。現在、電話等が難しい方はメール等で対応しているので、メール相談が可能であることも周知していく。



中央体育館でドローン練習・講習を

防災

**問** ドローンの国家資格制度が整備され、自治体としても安全に活用できる人材を育成していくことが求められる時代となった。

本町において、天候に左右されず、第三者と安全に隔離された環境で、基礎的な練習や講習更には実技試験までも視野に入れ、町内で学び、町内で活かせる環境づくりを願いたい。

そこで、災害時には拠点となり得、住民が日頃利用する公共施設と、防災人材育成・資格取得者操縦技能維持の場としての可能性を、丁寧に検討していくことが重要ではないか。

実現できれば、『若い世代の学びと地域参画』『中央体育館を中心としたドローンに対する住民理解の促進』『町外からの来訪による交流人口の増加』等の効果が期待できると考える。

**答 町長：**本年6月に3者と防災協定を締結し、専門業者をドローン運用の基軸としているが、現場の職員が対応する方が適切な場合も想定されるので、主に消防団員を対象にドローン操縦技能の維持・向上のため、国庫補助金申請を予定している。

本町は、近隣8市町との公共施設相互利用に関する協定を締結しているため、調整が必要となる。条例や規約等の整備に加え、他利用者の理解も必要なため、慎重に検討する。



防災

中央体育館でドローンを

町長ー近隣と調整が必要。慎重に検討

河野伊津美



リレーセンターへのごみ持ち込み

まちづくり

**問** 4月より、事前予約をしないとごみの持ち込みができないと言われ、搬入出来ず持ち帰り、電話予約入れて再度搬入したとの話を聞いた。

住民サービスの観点から言えば、わざわざ施設に來ているのだから注意してごみを受け入れすべきである。

職員の接遇研修が来ていないのでは。

**答 町長：**事前予約制とした背景については、施設構内に、やまとecoクリーンセンターへ搬送するための10tコンテナが2台ないし、3台設置されることになり、ごみの搬入経路を安全に確保するために予約制の措置をとった。

住民サービスの低下については、今後も事前予約を基本としつつ、周知を怠ることなく、改善に努めていく。



その他の質問

クビアカツヤカミキリの次年度対策は



物価高騰対策について

その他

**問** 要望を兼ねて下記の内容の方針をお聞きたい。

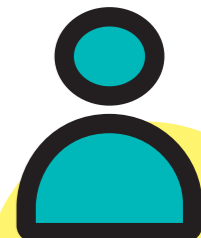
- ① 今回の配布金に所得制限を設ける考えは。
- ② 財政調整基金からの繰り入れの考えはどうか。
- ③ 交付金の配布基準は（世帯か個人か）。
- ④ 先進自治体では電子クーポンでポイント配布され、経費節減されている。広陵町での導入の考え方は。

**答 町長：**①最終的な支援メニューの決定は国や周辺自治体の動向を踏まえ、広く実施すべきと考えており、所得制限は設けず全町民を対象とする方向で支援を検討しているところである。

②財政調整基金からの繰り入れについては、原則は交付限度額以内で実施予定だが、施策上、必要な場合は繰り入れも考えている。

③今回の重点支援交付金は、個人に配布するよう検討を進めている。併せて事務コストの削減も検討している。

④電子クーポンの導入について、検討課題としており、スピード感をもって配布致したく従来方式で実施したいと考えている。なお、今後の導入については、研究、検討を進めていく。



その他

広陵町の物価高騰対策は？

町長ー従来方式で個人配布を検討

気になる議案あれこれ！

定例会において、注目した議案を私見を含めて紹介

議案第79号について



児童の安全を守るためには、早期に整えるべき歩道橋工事だと思います。ただ、契約変更のガイドラインに沿って適切に遂行しているのは分かりますが、度重なる変更には疑問符が立ちます。

当初、入札の時点で設計や仕様書を見て納得した上で契約されたはずですが、工事施工までに現地調査等を詳しく行っていただいていたなら、度重なる変更の回数は抑えられたのではないかと考えます。

釈然としませんが、児童や町民の安全を守るためには早期に完成させるべき工事であることは確かなので、議案には賛成いたします。

気になる議案あれこれ！

定例会において、注目した議案を私見を含めて紹介

議案第76号について



この条例は、ごみ処理に関する条例で令和7年4月より、やまとecoクリーンセンターへごみの搬入をするにあたり、可燃ごみとその他プラごみは一緒に焼却することになりました。

私に、ごみ減量推進委員さんより疑問を投げかけられ、担当課と打ち合わせを行っておりました。

今回遅ればせながら令和8年4月より、その他プラごみも可燃ごみ袋に入れるという改正です。

厚生建設委員会では1年遅れの理由の説明を求めましたが、担当部長から謝罪の言葉があり、令和8年4月に向けて周知を図るよう努めたいとの答弁がありました。

私見として、ごみカレンダーの変更を忘れていたのではないかと推察しています。

坂野佳宏



## 地域猫活動の支援拡充と福祉連携

その他

**問** 行政支援が乏しく、ボランティアが遠方の病院へ搬送し自費で手術を行うなど負担は限界だ。次の繁殖期に間に合うよう、無料チケットが利用できる「どうぶつ基金」の行政枠登録をいつ行うか。明確な時期を問う。

**答 理事者:** 繁殖期のピーク(2～4月)に確実に間に合わせるため、地域のニーズ調査を行った上で、今年度内(3月末まで)に行政枠への登録手続きを確実に進める。

**問** 猫トラブルの背景には、高齢者の社会的孤立や認知症による多頭飼育崩壊など「人の問題」がある。単なる環境保全でなく、福祉部局と連携し、高齢者が安心してペットと暮らせるサポート体制の構築を求める。

**答 理事者:** 貧困や健康問題など複合的な課題を抱えるケースも多い。重層的支援体制整備事業の会議の中で、環境部局と福祉部局が密に連携した支援のあり方を検討したい。



※12月9日に安部区で捕獲された11匹のうちの2匹の猫

## 参加の入口広げる対話の場を

まちづくり

**問** 「呼ばれたら行く」受け身の姿勢では、既存団体に属さない子育て世代や独居高齢者の声は届かない。役場で公募し弁当持参でざっくばらんに話す「ランチ対話」や、町長が出向く「少人数対話」など、行政とつながりのない個人も応募できる機会の創出を。

**答 町長:** 話しやすい雰囲気づくりは大切だ。ご提案の少人数での意見交換や、日常生活に近い場所での対話など、住民の皆様がリラックスして参加できる仕組みを研究していく。

## インスタの早期活用

まちづくり

**問** かぐや姫まつりの70周年イベントの投稿が僅か16件だったのは公式アカウント不在が原因ではないか。若者や子育て層へ情報が届くよう、写真で直感的に魅力が伝わるInstagramの運用を、来年度の組織改編を待たずに早期にスモールスタートしては。

**答 理事者:** 若年層等に情報が届きにくい課題は認識している。令和8年4月の新組織始動を待たず、今年度中(3月末まで)にアカウント取得を進める。



まちづくり

# 本気の「住民対話」実現へ

町長―参加しやすい対話の場を創出する

## 一般質問する前に一言もの申す!

一般質問として取り上げるに至った経緯



## 届く広報へ! インスタ導入を提案

現在、町はLINEや広報紙で発信していますが、子育て世代等には十分に届いていないのが実情です。実際、審議会の担い手不足やワークショップの参加低迷など、広聴や協働の場における停滞は深刻な課題です。今は活字よりも、画像や動画で直感的に情報を得る時代です。

住民の多様なライフスタイルに合わせ、行政も発信方法を柔軟にアップデートしなければなりません。そこで今回は、視覚的に情報を届けられるInstagramの導入を提案し、住民に情報が確実に「届く」広報への抜本的な転換を強く求めました。

小西 栄枝



## 町営住宅建て替えの検討を

まちづくり

**問** 7月議会で建て替えを検討するとの答弁があったが、今にも地震など起されれば倒壊する恐れがある。前の町長曰く、恥ずかしいような町営住宅を建て替える方向での進捗状況は。

**答 理事者:** 古寺への移住をお願いしている中で、1世帯が移る計画。確保すべき住宅ストック量を見極めたうえで基本方針に反映する予定。  
令和8年3月末までの業務期間があるので、今の段階で建て替えは決定していない。

## 教育費への支援を

教育

**問** ①就学援助費など支援の枠や金額の増額をすべき。小学校で入学時10万円、中学校で15万円かかる。これでは今の就学援助金では足りない。増額すべき。②高校入学の町独自の給付制奨学金年間6万円を倍にする検討を。③生理用品を香芝市のように各学校のトイレに配置を。

**答 理事者:** ①町が支援の就学援助金は国の示す基準とほぼ同額に設定。生活保護受給者との支援のバランスを考慮して、これ以上の支援増額は考えない。  
②高校生への支援は、国や県が支援制度を設けているし、拡充する検討があるため、町は増額しない。  
③生理用品はいたずらなどの学校管理上の問題があり、今まで通り保健室に置く。

## 残食解決や不登校生徒への支援を

教育

**問** ①配膳時間短縮のため、配慮がある(遠い所など)教室へのワゴン設置など工夫がいる。献立表も全国ではカラーで食欲がわく工夫がされている。改善をしてみてもいい。

②西東京市などは、公平性を保つために、アレルギーや宗教上で給食を食べない生徒や不登校生徒にも補助金を保護者に支払っている。町でも取り組むべき。

**答 理事者:** ①令和8年1学期に再度アンケート実施予定。

配膳時間短縮の改善は必要。献立表は生徒たちが持っているタブレットにカラーの献立表を載せる。  
②不登校児童生徒への補助は検討したが、町が提供する給食を無償にすることに主眼を置くとして支援は行わないことにした。

広島市 献立表

かかみがはら市 献立表

## 一般質問する前に一言もの申す!

一般質問として取り上げるに至った経緯



## 不登校生徒家庭にも給食費支援を

不登校児童への支援を言いながら、給食費無償化から外す町の考え方に、もの申したかったです。

同じ町内に住む子ども達が様々な原因で学校に行けない子ども達。

家で昼食を用意されている保護者、物価高騰はこの世帯にも容赦なく押し寄せてきているのに支援の手が伸びません。

公平性が保たれてはいない現状を訴えたかったです。

山田 美津代



教育

# 配膳時間短縮のため改善を

理事者―残食改善のため検討していく

## クビアカツヤカミキリ対策は？

まちづくり

**問** クビアカツヤカミキリによる被害は、桜を中心に急速に拡大し、景観や安全面に深刻な影響を及ぼす。現在の対策は公共施設中心だが、民有地を含めた町全体としての戦略が必要ではないか伺う。

**答 町長：**町では、公共施設を中心に調査・防除を進め、民有地については相談対応や助言を行っており、今後は専門家の意見を踏まえ、景観回復や再植栽も含め、住民と協力した持続可能な対策を検討していく。

## まるごとビズの運営・進捗は？

まちづくり

**問** 町外相談の増加により、町内事業者の相談環境に支障が出ていないのか、また1件2万円の負担金が運営コストに見合っているのかを伺う。

**答 町長：**町では、月23枠を確保しており、町内事業者の相談に支障はなく、今後相談が増えた場合には体制や費用の見直しも検討する。あわせて、Instagramについては、ストーリーズを活用しつつ、本投稿についても工夫しながら発信を進めていく。

## 二度の予算修正について

まちづくり

**問** 赤部26号線歩道橋工事は臨時議会で早期の議決を行ったにもかかわらず、その後、当初予算から2億円、さらに今回3,500万円と短期間で複数回の増額が生じている。臨時議会を開くほど急ぐ必要があった行政判断は、結果としての度重なる増額と整合しているのか、判断の妥当性と今後の再発防止策について伺う。

**答 町長：**本事業は通学路合同点検で危険箇所と判断され、国の補助制度を活用し、早期に児童の安全確保を図る必要があったため、臨時議会に対応した。その後、通学路変更への対応や歩道橋の2方向化、地質調査による基礎構造の見直しにより増額となったが、今後は設計・積算段階でのチェック体制を強化し、再発防止に努めていく。



まちづくり

歩道橋、今後の対応は？

町長―真摯に向き合っていきたい

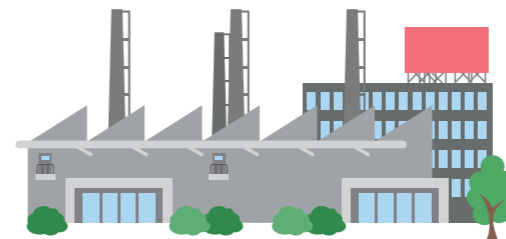
## 行政も稼ぐ意識で行動を

その他

**答 町長：**① 簗尾工業団地は、全社2年以内に操業予定で、税収増及び経済波及効果で町及び地域が活性化する。大塚地域は多数の企業から進出要望があるが、当該地域は農業振興地域で、産業創出との地域分けが必要で、企業進出のため地区計画の策定で支援を検討中。税収増及び雇用促進で経済活性化を目指す。

② ソフト施策で実施のふるさと納税及び企業版ふるさと納税等で議員提案の各種施策は適時に取り組む。

③ DX活用の業務フローの改善、レガシーシステム及び役場風土からの脱却等議員提案の種々の対応には鋭意検討して適時に取り組む。

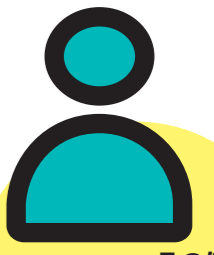


**問** 行政の役割は税収をもとに住民福祉の向上にある。国も地方も少子高齢化で生産人口減少で税収減となる。社会保障費の増加で財政逼迫状況で、交付税国庫支出金の減少が想定される。

① 自主財源確保の手段としてハード事業簗尾工業団地立地8社が2年以内に操業予定で、今後、法人町民税と固定資産税で年額約9,800万円見込まれ、実施予定の小中学校給食費無償化の財源補填となる。加えて経済波及効果で町内に人と物とお金が行き回り、より暮らしよい町となる。

② ソフト施策も重要、未活用の町有地、統合で不要な施設を売却や賃貸、適切な事業の地方債の発行、実施事業の強化、事業の目的が一緒であれば、民間企業、大学、NPO等の手を借りて、公民連携で稼ぐ地域を創出する。

③ 行政サービスで稼ぐ、デジタル化の推進で業務の自動化で人手不足の解消、DXで業務フロー改善、レガシーシステム及び役場風土の脱却等、直接的でなくて、相対的に稼いだことになる。先進事例を調査研究アレンジして、本町に適應のシステムの構築を求めて、持論の行政サービス向上で「住民福祉」、稼いで「町財政健全化」、業務改善で「職員力向上」と「三方よし」となるのでは。いかがか。



その他

行政も稼ぐ時代ですよ

町長―施策を網羅して取り組みます

## 一般質問する前に一言もの申す！

一般質問として取り上げるに至った経緯



## 「クビアカツヤカミキリ」とは？

クビアカツヤカミキリは外来種のカミキリムシで、幼虫がサクラなどの幹内部を食害し枯死させます。根元にフラスが大量に出るのが特徴で、初夏から夏に成虫が出現し被害が急拡大します。公園や街路樹の倒木リスク、景観悪化につながるため早期防除が不可欠です。町内の公園や通学路、河川沿いの樹木被害は住民の安全と景観資源の喪失に直結し、進行後は多額の伐採・更新費用を要します。被害顕在化前の予防、早期発見、計画的かつ継続的な防除方針の明確化が必要と考え、一般質問で取り上げました。



吉川 司



## 気になる議案あれこれ！

定例会において、注目した議案を私見を含めて紹介



## 行政組織条例の一部改正

今回の改正で、部長及び課長の増員が示されましたが、自身、長期に幹部職員と関わった経験で一時期、新卒採用が途絶え、経験不足者の登用で不備が生じました。しかし、外部招聘がない場合は、現陣営での登用となります。

「役が人を作る」の例えで役職につくことで、モチベーションや責任感が向上して役職に見合う仕事ができる人に成長しますが、その資質の有無を見分ける眼力は選任者に必要では。

条例改正の効果の有無のキーとなるので努力を求めます。

青木 義勝



# 議会日誌



11月

4日 議会運営委員会  
第4回臨時会  
総務文教委員会

12日～13日

第69回町村議会議長全国大会

25日 全員協議会

12月

2日 議会運営委員会  
常任委員長会  
国保中央病院組合議会

8日 第4回定例会（初日）

11日 第4回定例会（2日目）

12日 第4回定例会（3日目）

15日 第4回定例会（4日目）

17日 総務文教委員会  
厚生建設委員会

23日 議会運営委員会  
第4回定例会（最終日）  
議員懇談会

1月

4日 新年賀詞交歓会

7日 第1回広報編集委員会

10日 広陵町消防出初式

12日 二十歳のつどい

14日 第2回広報編集委員会

20日 第3回広報編集委員会

## 広報編集委員の お気に入りの写真



## 編集後記

昨年7月、吉村新町長が誕生し、「住民対話で明日をつくる」をスローガンとし、学校給食費無償化など住民に寄り添った施策が進められました。さらに、町制70周年の節目の年でもあり、多彩な行事が実施されました。

令和8年は「午（うま）」の年です。本町がさらに力強く駆ける馬のように、前進できる一年となるよう、議員一同、町民の皆さまの暮らしを支えるため尽力してまいります。本年もどうぞよろしく願いたします。



## 議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがございます。その際は、どうかご理解とご協力をお願いいたします。



## 広報編集委員会

委員長 吉村 眞与美  
副委員長 八尾 春雄  
委員 河野 伊津美  
委員 小原 薫  
委員 坂口 友良  
委員 小西 栄枝



広陵町ホームページ  
<https://www.town.koryo.nara.jp>

